



寄居ロータリークラブ 会報

YORII ROTARY CLUB

R.I.会長
ゴードンR.マッキナー
第2570地区ガバナー
高丹 秀篤
第4グループガバナー補佐
原島 生慈



令和5年8月30日(水)
会場 ホテルシティプラザ寄居

第2703回例会

司会 山口 正彦 (SAA)
点鐘 松本 則之会長 (12:30)
ソング 奉仕の理想

1. 会長の時間

松本 則之さん

改めまして皆さんこんにちは。本日は杉田さん、土師さんの私の履歴書がありますので、今日はさらっと終わりにして、もし時間が残るようなら、また話させていただきたいと思います。

このところ始まったACジャパンのCMですが、今後、AIの発達によって仕事の49%がなくなるような、非常に恐ろしいことをさらっと述べているCMが流れまして、これはものすごいインパクトが大きいと思います。それだけ現実味があって、皆さん、あるいはこれから働く人に対して、いろいろと準備をしてくださというようなメッセージが込められているからです。確かにAIの進歩はものすごく、例えば作曲をしたり、絵を書いたり、あるいは将棋なども、今や名人を打ち負かすくらいの、AIには将棋もかなわないという感じで、中には対局中、トイレに行った際AIを不正利用して、処分をされた高段の、8段くらいだったかと思いますが棋士がおります。

本当に怖いというのもあるのですが、新たな自分を構築して、どんどん自分をバージョンアップしていく圧力には必ずあります。また若い人にとっては、AIを利用した仕事のことはまだまだ開かれてない部分が多々ありますので、ものすごい大きなチャンスというのも含まれております。

私もAIでやるといいと思うのは、ネット犯罪の取り締まりです。こういうのをAIで見張らせるというのはとてもいいと思います。例えばSNSの誹謗中傷、あるいは闇バイトの報告、詐欺等です。これを警視庁のマnpワーですと、どうしても限界がありますので、AIを24時間ずっと使っていれば、そういうことを素早く発見して犯罪を未然に防ぐということにも使えると思います。

また、政治です。政治というのもかなり膨大なデータを打ち込めば、こういったことをやっていくと、国民の人は

幸せになれる。そのような道筋を導き出すのも、実は期待できるのではないかと個人的には思っております。というのは、今の選挙で勝たなければいけないというのがあります。どうしても今の方にばら撒くとか、そういった施策が必要になることもあります。ですが、未来のことを考えれば、必ず大きな負担を自分の子供、孫の代に残してしまいますので、AIに基本的な政策を教える。あるいは投票権。選挙の投票権の3割ぐらいを未来の人たちは今こう考えるだろうということで、投票権を与えれば、政治家も今だけじゃなくて、未来の20年先30年先を考えた政治をよりやりやすくなる。そういう思いがあります。ロータリーというのは、異業種の方たち、プロフェッショナルが集まっておりますから、時代が変わろうとたくさん会員間で、刺激し合い、インスパイアされながら、新しい自分になっていく良い機会であるのが、このロータリークラブでありますので、皆さん、ぜひこの機会を大切に、ロータリーの発展と、個人の實力をつけていく、この両方を目指していけば、ロータリーというのは本当に素晴らしい会になると思います。以上、会長の挨拶とさせていただきます。ありがとうございます。

2. 幹事報告

松本 幸男さん

皆さんこんにちは。幹事報告をする前に、今の会長の話はすごく怖い、恐ろしい話だなと思って聞いておりました。



AIに私達支配されてしまうのではないかと考えているので、私たち自身AIに支配されることのないよう知識や人間力さらにを高めていかなければと思いました。会長ありがとうございました。では監事報告をさせていただきます。

まず、9月24日紫雲閣2階鳳凰の間において国際奉仕委員会セミナーがあります。これは国際奉仕委員長の森田さんと急遽私が行くことになりましたので頑張って参加

してきたいと思います。よろしくお願ひします。

次に皆様にお伝えさせていただきたいことがあるのですが、国際ロータリーのオンラインの募金ツールができましたという案内は皆さまのところにも届いておりますか。ロータリーのオンライン募金ツールができましたというメールがロータリー財団から来ております。寄付の認証対象はマイロータリーで利用しているEメールアドレスを使い、Rais for Rotaryを通じて行った寄付は、ロータリー寄付の認証対象となります。また日本円でのご寄付は、公益財団法人ロータリー日本財団への寄付となります。オンラインでも寄付ができるようになったようですので、お知らせさせていただきます。

また、My Rotalyも皆さんで講習のようなものをして、登録できればと思います。基本的な登録はできているので、個別にダウンロードして自分で利用できるまでいきたいと思います。今度時間を取って講習をしましょう。講師を呼ぶか、私で分かれば私が登録方法を等お話しするという形で進めさせていただきたいと思います。よろしくお願ひいたします。

本日の幹事報告は以上となります。

3. 委員会報告

(1) 出席推進委員会

荻野 幸一さん

例会日	総員	欠席	出席	MU	出席率
8月30日	35	4	31	0	88.57%
8月 23日の修正出席率					82.85%

(2) ニコニコボックス委員会

下条 誠さん

松本 則之さん 杉田さん、土師さん、本日は楽しみにしています。

松本 則之さん 皆さん、まだまだ暑さは続きます。体に気をつけながら、日々の生活を楽しましましょう。

松本 則之さん 大谷翔平選手の44号ホームランと頑張れのエールを送ります。

多めにいただきました

松本 幸男さん 暑いですね。熱中症には気をつけましょう！！という言葉がマンネリ化してきました。しかし！そんな時ほど気を抜かず注意してください。本日は杉田さんと土師さんの私の履歴書です。楽しみにしておりました。本日もよろしくお願ひ致します。

多めにいただきました

津久井大雄さん 杉田さん、土師さん、本日は卓話、宜しくお願いします。

吉野 泰久さん 目の前のBOX用紙が俺を見つめるので！土師さん、杉田さん「全てを語ってください」楽しみにしています。

佐橋 正行さん 杉田さん、土師さん、卓話よろしくお願ひします。

浅見 克一さん 季節はまわる。まもなくあの暑かった日々が恋しくなります。けっこうな事です。

山口 正彦さん 杉田さん、土師さんの卓話を聞いて、暑い夏を吹きとばしましょう。

鈴木 光則さん 杉田さん、土師さん、私の履歴書、楽しみです。

柴崎 猛さん 杉田さん、土師さん、「私の履歴書」楽しみにしています。

柴崎 正さん 杉田さん、土師さん、私の履歴書よろしくお願ひします。聞くのが楽しみです。

清水 浩一さん 杉田さん、土師さん、私の履歴書楽しみです。力まず頑張ってください。

加藤 祐司さん 杉田さん、土師さん、本日の卓話楽しみにしております。よろしくお願ひいたします。

安齋治一郎さん 杉田大亮さん、土師賢一さん、私の履歴書楽しみにしておりました。よろしくお願ひします。

荻野 真仁さん 毎日暑いですね。本日は杉田さんと土師さんの卓話を楽しみに来ました。

森田 淳一さん 朝から土間コンクリートを打設をして「へろへろ」ですが頑張って例会に参加したいと思います。

吉田 昌弘さん 杉田さん、土師さん、本日も楽しみにしておりました。どうぞよろしくお願ひ致します。

小鮎 哲夫さん 本日もよろしくお願ひします。

高田 徹さん 本日は設営のみで失礼いたします。杉田君、土師君の卓話聞けず残念です。2人とも元気よくいきましょー！！

権田 功さん 8月も最終となりますが、まだまだ暑い毎日です。体調管理に気をつけましょー！！

高倉 隆綱さん 今日で長女の夏休みが終わります。明日から毎日登園。嬉しさより寂しさが勝りますね…本日はよろしくお願ひいたします。

豊田 康業さん 杉田さん、土師さん、本日の卓話を楽しみにしております。本日もよろしくお願ひします。

杉田 大亮さん 本日は私の履歴書でお世話になりました。大ききいただきました

土師 賢一さん 結婚祝いということで、お祝いをありがとうございました。本日もよろしくお願ひ致します。

柴崎 正さん 前々回欠席のため。猛暑続きで忘れる

ところでした。

加藤 祐司さん 前回欠席のため。

吉田 昌弘さん 前回欠席のため。

下条 誠さん 杉田さん、土師さん、私の履歴書楽しみです。本日も楽しんで参りましょう。

「卓話」

私の履歴書

土師 賢一さん

皆さん改めましてこんにちは。ちょっと大変緊張していきまして、すみません。作文を読むような形になりますがよろしくお願いたします。



私の父は鹿児島県伊佐市の出身で昭和35年頃、中学校卒業の時に集団就職で東京に出てきて、数社勤めたのち高層ビルの窓サッシ関係の取付業で独立し、数年後、その会社は上京してきた弟に譲り、父は塗装業に業種を変えたと聞いております。その後、友人の紹介で後の母と出会い、1973年、母と入籍し川越市の方へ転居してきました。それと同時に、現在の橋塗装も創業したとのことです。翌1974年には姉が誕生し、その6年後1980年、寄居町富田に一戸建ての住宅を購入し移り住み、間もなくして、1981年1月16日父土師袈裟信、母 雅子の長男として私が誕生しました。兄弟は六つ上に姉がいて、父母姉と私の4人家族となります。

その後、私は若竹幼稚園に通い、そして男衾小学校と進学しました。小学校では特に何か得意なものがあったわけでもなく、サッカーが好きな少年でした。そして中学に上がると、サッカー部に所属しました。サッカーでは県北選抜の選考会に2回呼ばれましたが、選考会止まりで終了。3年の夏の大会では初戦で普段練習試合では負けたことのない学校とあたり、皆気が抜け、オウンゴールもあり、まさかの敗退。気持ちの大切さを改めて最後に学び、早々に中学の部活生活は終わり、この頃ぐらいから、ドラムとギターをかじる程度ですが始めました。

その後高校進学。東京農業大学第三高等学校に大きな背伸びをしチャレンジし、何とか普通科を合格。高校生活はサッカーをエンジョイしようとしていたわけですが、そこで待っていたのはスポーツの特待生の洗礼でした。サッカーはもちろん、持久力にも歯が立たない。入学して2ヶ月で、狭い視野で天狗になっていた気持ちはボロボロになり、学校に行く気力もなくなってしまいました。部活にも行かなくなり、気持ちが負け、目的を失い、1学期で卒業。この頃はお金のこと等あまり考えられていなかったのですが、後に親には大変迷惑をかけたと大変反省しました。その後、地元のスーパーやおよし、スカイラーク松山工場などで働かせていただきましたが、どれも続かず地元を自転車で徘徊しているところを社長に見つかり、当然激怒され、こっぴどくしばかれ、16歳の冬からハシ塗装に連れて行

かれました。

私が入社した頃は、お付き合いをさせていただいている会社様の兼ね合いで、主に県南方面の現場が多く、朝はほとんど6時前に出て、現場に8時前に着くに行く、そんな流れでした。当時はほぼ下請けの仕事で、工場の新築の鉄骨塗装、学校の改修など箱モノが7割、住宅塗装が3割と社長自身が元々住宅よりも公共工事の下請けでお世話になることも多かったことから、そちらの種類が多かったと思います。

3年が経ち、2000年19歳になったとき、周りの同業者のすすめもあり、技能検定 塗装技能士2級を受験、何とか合格。ですがこの頃は仕事をどうこうという考えは少しもなく、夜遊ぶために、日々目の前の作業をもくもくやるというものでした。同じ頃、後に一緒になる妻とお付き合いするようになり、2001年21歳のときに長女を授かり、籍を入れ、一緒になりました。子供ができたことによって少しずつですが、「このままでいいのか?」と、仕事や今後について考えるようにもなりました。また一方で、18歳の頃から音楽のオリジナル楽曲のバンド活動をギターボーカルとして積極的にして、ライブハウスで毎月3本のライブをしていました。ジャンルはメロコア、パワーポップ、パンクというもので、好きなアーティストたちの登竜門的なライブハウスが新宿にあったことから、この新宿のACBホールというライブハウスをメインに新宿、熊谷、浦和、たまに地方読んで頂いたり活動をしていました。そんなお金のかかる、わがままな生活を家族を巻き込みしていたのですが、2005年に24歳の時に、次女が宿り、ここで覚悟を決め、バンドを辞め、仕事に専念するようになりました。

2006年、25歳のとき次女が誕生。

ここで塗装技能士の1級を受験しました。

例年全国で5000人程度が受験し、ここ埼玉県でも150人前後なのですが、合格率がおおよそ40%で、私は何とか無事合格することができました。また、優秀な成績者には金賞、銀賞、銅賞と授与されるのですが、金賞は滅多に出ることはなく、この年も金賞は該当者なしで、銀賞は3人、私も銀賞を頂きました。このことは大きな自信となりましたが、依然として地元の仕事が少なく、どうにかしないといけないという思いは強くなるばかりでした。

2009年、28歳の時に住宅を購入。夢のマイホーム。俄然やる気がみなぎります。

2010年、29歳の時、地域に密着するきっかけ作りの一歩目として、まず自ら進んで入ることがほとんどない消防団へ知り合いを通して自ら入団しました。現在、津久井団長の元、第5分団の分団長として、微力ではありますが務めさせていただいております。ここで新たな出会いがあり、バルツバインの坂本くん、商工会の経営指導員の白川さん。このことがきっかけで、商工会青年部へと繋がり、当時部長だった株式会社建設の志村敏さんにお会いして、いろいろな場所へ無理やり連れて行かれ、いろいろな会に強

引に入会され、その場にいらっしゃる大先輩方には誰だこいつは？という目で見られることも多々ありましたが、この頃、未熟すぎるが故に、お酒をいただける場であれば、恐ろしい眼差しもあまり気にならなかったのも、何とか居座り続けることができてしまい、大変多くの方にご迷惑をおかけしたかもしれませんが、この短期間知っていただく機会を作って頂いて、今があるのは志村さんのおかげだと今でも感謝しています。何でも腰は低く、アンテナは高く情報を収集して、TTP（徹底的にパクるという造語です。）また仕事への姿勢など多くの事を学ばせて頂き、大変刺激を受け、大きく自分が成長するきっかけとなりました。

2012年、31歳、町内のお客様からのお問い合わせ。男衾地区の方から電話帳を見てのお問い合わせをいただき、お話を伺うと、どうやら他社で塗装工事をしたのですが見てくださいというものでした。良く内容がわからないお電話だったのですが、地元の男衾地区なので、お話を聞きにお伺いしました。状況を拝見すると、今時あまりないずさんな施工で、県南の流しの業者に頼んだのとのことで、素人目にも疑問を感じる状況から、施工業者に対して手直しを依頼するも来てもらえないという相談でした。

あまり同業者の悪口も言いたくないものの、状況も酷く、かわいそうでしたので、施工業者へのやり取りをアドバイスさせていただきました。帰り際に、地元には塗装会社さんはハシさん以外いないのですか？と聞かれ、いや自分の知っているだけでも10社近くいるので、実際はもっといると思いますよ。と話したところ、私達のような繋がりのない者のために、もっと会社の宣伝をして頂いた方がいいんじゃないですか、困っている人はたくさんいると思いますよ。とおお客様の心情から結構きつめに言われたこともあり、正直自分もこの日は直接身になることもなく、イラッとしたのですが、地域に密着するには、まず知っていただくとはまらないということを感じ、同年実行委員会で活動していた「よりい夕やけマルシェ」に、塗装店として出店することにしました。ペンキ屋がイベントで何をするの？と大変悩みましたが、近隣の方々へ周知を図る事だけをメインにすることにしました。同時期に祭典市への出店もはじめ、風船を配り、更なる周知に取り組みました。

2013年、32歳、長男が誕生。会社は法人化。

2014年、33歳、母が病死。私が15歳中三のときから、乳がんを患い、3年後に肺がん、翌年には脳腫瘍。このとき先生からは5年生存率が0%と言われていたのですが、母がポジティブでパワフルだったこと、また孫が生まれたからなのかなとも思うのですが、その後奇跡的に10年間再発もなく過ごしてきたのですが、脳腫瘍の手術から11年後に大腸がん、多臓器転移となってしまい、最後は手を握り旅立ちました。そして社長はこの頃から1年間程度、休職状態となりました。

2015年、34歳、戸建てリフォームもメインにした足場事業部の設立。設立前1年間、某会社を下請け外注として入っていた、後の足場責任者と打ち合わせを重ね、設

立後継続して取引できる相手先様も確認し、受注、売上もシミュレーションし、設立したのですが、始めてみたら打ち合わせてきた内容とはるかに案件数が合わず、やればやるだけ赤字が膨らみ、足場資材の置き場など、その他投資したのもあったことから、何とかしようと努力する方向に舵を切りましたが、もう收拾がつくようなレベルではなく、1年半続けましたが、塗装本体が動けなくなる前に撤退することにしました。

翌年2017年、36歳、足場事業の大失敗もあり、会社として大変厳しい状況ではありましたが、数年前から場所を見定め考えのあったお客様との窓口、外壁の診療所を桜沢にオープン。外壁の診療所のオープンから半年は店舗の売り上げは小さいものでしたが、半年を経過する頃から毎月2、3件の来店受注ができるようになり、多いときは5件以上受注することもありました。また、同年男衾中学校PTA会長にも就任しました。

2018年5月、37歳。商工会青年部の部長 就任。

2019年1月、38歳。新型コロナウイルス感染症のパンデミックが起こる。外壁の診療所オープン後、1年半かけて順調に受注を増やしていたのですが、このことをきっかけに完全に来店が止まりました。

2021年5月、40歳。寄居町消防団第5分団副分団長就任。そして青年部部長。残念ながら2期目続投。

2022年4月、41歳。男衾小学校PTA会長就任。今年2023年4月42歳。寄居町消防団第5分団、分団長に就任。長年務めさせていただきました2期4年の青年部部長もやっとバトンを渡すことができ、退任。

現在は、塗装工の従業員2人と私と常備2人程度の応援スタッフと計5人で現場作業を行っております。関わりの強い同業の協力会社も10社以上おり、大きい現場の予定が入る際は協力し合い、お仕事をさせていただいております。

近年では、住宅塗装が大半ではありますが、学校の回収工事や企業様工場棟改修工事など、弊社の規模からすると、中規模大規模な案件を年に2、3件お世話になりながら、住宅塗装を年間60棟前後、また、部分塗装など40件前後、塗装が絡まない住宅改修工事（屋根の葺き替え、瓦の修繕、雨どいの交換、水回りのリフォーム、窓サッシの入れ替え玄関ドアのリフォームなど）を20件前後、合計で年間130件程度の現場を受注させていただいております。受注形態比率は、下請けが4割、元請が6割となっております。

最近では、外壁の診療所の来店も徐々に戻り、月に1、2件の問い合わせを頂いている状況です。

今後は桜沢の店舗の更なるサービス向上を図り、塗料や建築商材の物販にも取り組もうと準備を始めています。また桜沢店舗での取り組みが実行された後、あるいはあらかじめ達成されてきたら、2店舗目の出店も考えており、会社としては、身内に限らず他人が承継したいと思える形にしていきたいと考えています。

また個人の未来としましては、今回このような機会を頂き、振り返ることで再確認することもできたのですが、やはり人との出会いの中で気づき、学ばせて頂き、私は今までやってこれたのだと改めて強く感じました。その中でもやはりカミさんとの出会い、子供の誕生が私にとって大きな転機となりました。現在長女は20歳、次女は17歳、長男は10歳とまだ下の子が小さいので、すぐすぐではありませんが、今以上に家族の時間、夫婦の時間を作れるようにこれからも頑張っていきたいと思っております。ご清聴ありがとうございました。

松本則之会長

とても良い経験値を積んできたなど。マイナスに触れたこともあるのかなと思うのですが、今、心を前向きに持っているのもう財産でしかない。本当に人間力。これからも、ロータリーの仲間として、末永くよろしくお祈りします。ありがとうございました。

私の履歴書

杉田 大亮さん

改めましてこんにちは。7月からお世話になっております、あゆみホームの杉田と申します。よろしくお祈りします。



私の父は折原、母は鉢形で、生まれも育ちも寄居町です。

1977年に生まれ、子供の頃は、とにかく荒川が大好きな川ガキでした。休みになると父と共に川に行き、魚釣りをしたり、潜って魚をとったりということをしていました。川の事が大好きなこともあり、中央漁協の本部理事などさせて頂いています。

私が高校2年のときに両親の離婚がありまして現在名乗っている杉田に姓が変わりました。

高校卒業後約3年間、飲食業やルート営業等職を転々としておりました。その頃に知り合いが不動産屋に勤めており、誘われ、20歳と10ヶ月のとき不動産業界に飛び込んで、今日に至っております。

不動産業界に入り12年間勤めました。

起業をしようと思った一番大きなきっかけとなったのが、2011年3月の震災を受けまして、自分の命が決められないところで、簡単に決まってしまうことがあるということを考えさせられて、同じやるなら自分でやろうと思い、2011年5月に勤めを辞めて、企業の準備に取りかかりました。事前準備もなく退職をし始めたので、資金繰りやリース借器を借りることなども大変でした。これがきっかけとなり、事前準備はとて大変なことだと勉強になりました。

何とか起業することができて、寄居町役場の入口近くに、事務所を借りまして、そこで1年8ヶ月ぐらい営業していました。

2013年、現在の寄居町鉢形へ引越しました。

2018年、食堂開業希望者と出会い、寄居町寄居に食

堂&喫茶チルを開業。

2019年、風布で寄居を盛り上げたい！と思う方と出会い、2020年風布館指定管理を受けて、4月に開業。2020年4月7日に緊急事態宣言で休業。借りてから3年間殆どともに営業できず、単体事業としては大きな赤字をだし、寄居町に返すことになり、23年3月風布館事業撤退。

その後、介護事業をしたい人と出会い、2023年5月より介護事業に着手。

2023年8月、埼玉県から訪問介護事業の許認可番号取得。

起業の際の叔父からの進言を大切にしております。

「2足のわらじを履いて商売はできない。なぜかという、2足のわらじを履いて全速力で走れる人間はいないと、1足だからこそ全速力で走れる。だから2足のわらじを履くもんじゃない」と言われました。さらにもう一言、

「ただし、2足のわらじを用意して、1足ずつ履いて共に全力で走ってくれるパートナーがいればわらじは用意してあげた方がよい。パートナーのためのわらじは何足でも用意して、共に走ってもらっていいのじゃないか。」と。起業しようと思い立ったときに、挨拶に行った際に言われたことを今も大切にしております。

何かチャレンジする際に、用意した靴を履いて共に走る人との出会いを大切にしております。

新しいことにチャレンジするには事前準備も大切にしておりますが、天災等で思いもよらない事が起こり、赤字を出し、撤退する事も経験させていただきました。

しかし、起業のきっかけとなったのは震災だったことを思い出し、チャレンジすることはあきらめず、人との出会いに感謝をして常に新しいことにチャレンジしていきたいです。

松本則之会長

どうもありがとうございました。2人ともいろんな経験をしてきたというのがわかりました。これは本当に宝物になります。生かしていただければと思います。

会長の時間

松本 則之さん

若干時間残っていますので、少しお話しします。昨日ですが、ニュースを見ていましたら、ブラザーコーンというミュージシャンの方が乳がんになったと会見を開いていました。会見で、がんには必ず打ち勝つというようなセリフがありました。私それをすごく心配してしまいました。というのは、病気、特にがんに対して打ち勝つてやるぞという形での対し方。これは頑張れば頑張るほど、脳波というのはベータ波になっていく訳で、人の体を癒す脳波というのは、アルファ波、望ましくはミッドアルファ波と言われているのですが、松下幸之助さん、松下電器の創業者で、日本一有名な経営者ですが、社長を退いて、会長になったと思います。第一線で働いていまして、部長を呼んで怒鳴

り飛ばしたりしながら、常に緊張状態、ベータ波全開でいましたら、不眠症になってしまったということです。大きい会社ですから、松下産業の中で働いているエンジニアで、脳波を研究している人がおりまして、会長を呼んで脳波を測定したら、ベータ波ばかりだったという。そこでその研究者の方は会長に、夕飯を食べたら、こういう呼吸をしてくださいと伝えたそうです。吸うときに、「良かった。」と頭に思い浮かべながら吸い、吐くときに「ありがとう。」という感じで呼吸するようにしてください、と。すると見事不眠症が治ったというような話があります。

ブラザーコーンも何か抗がん剤を使用して、体調が悪いとテレビで話していましたが、今、がんに対して抗がん剤を使った人と使わない人で、罹患後どのくらい命があるかという統計をアメリカやカナダの方で広範囲に取っていますが、なんと抗がん剤を使った人は使わなかった人よりも、早く亡くなっているらしいです。

抗がん剤も最初だけは効くらしいのですが、次第にがんも抗がん剤に対する耐性を得てしまうようで、そうすると一方的に健康的な細胞に毒を持っている、そういった形になってしまうようです。日本の実はがんの第一線の権威の方たちは、自分も家族にも、もしがんを罹患しても、抗がん剤は使わせないという、匿名のアンケートの結果が出ているそうです。

皆さんもぜひリラックスする時間を持って、アルファ波を出して、身体のケア、心のケアをしていただければと思います。以上ですありがとうございます。

点鐘 会長 松本則之さん

国際RC第2570地区第4グループ 寄居ロータリークラブ
E-mail yorii-rc@carrot.ocn.ne.jp

2023.8.30 会長 松本 則之 会報・雑誌委員長 加藤 祐司
No. 5 幹事 松本 幸男 副委員長 浅見 克一

・例会日時 毎週(水) 12:30~13:30
・例会場 ホテルシティプラザ寄居
・住所 寄居町大字桜沢888-1
・TEL 048(581)2468
・FAX 048(581)3530